

「農村ワーキングホリデーの定着を」



体験に基づき意見交換を行うパネリスト

農山村再生セミナー（同実行委員会、県南広域振興局主催）が3月9日、胆沢文化創造センターを会場に開催されました。このセミナーでは、和歌山大学の藤田武弘教授による講演のほか、昨年9月に実施した農村ワーキングホリデーの受け入れ農家や、実際に参加した大学生などによるパネルディスカッションで、意見交換が行われました。

「防災意識を啓発」



講演を行う岩手大学の南教授

市は、地域ぐるみ防災セミナーを3月20日、江刺総合支所を会場に開催しました。セミナーでは、市防災計画の見直しポイントの説明、羽田地区振興会の自主防災組織の事例発表を行いました。

その後、「東日本大震災に学ぶ安全・安心のまちづくり」と題して行われた講演では、岩手大学の南正昭教授が、宮古市田老地区で取り組んでいる支援活動を紹介。この日集まった約200人の参加者は熱心に耳を傾け、防災への意識を新たにしていきました。

「ダムを生かした地域づくりを」



胆沢ダム水源地域活性化協議会の設立総会

胆沢ダム水源地域活性化協議会の設立総会が3月15日、奥州地区合同庁舎で開催されました。行政や住民組織・市民団体などで構成された同協議会は、25年度に取り組む先行プロジェクトの日程やダム湖面利用ルールなどを協議。ダムの水源地域である胆沢地域の活性化や上下流の交流、バランスのとれた流域圏の発展を目指すことになりました。

「地域の防災拠点・消防署胆沢分署が完成」



落成式でテープカットをする出席者

水沢消防署胆沢分署の落成式が3月27日、胆沢区小山の同分署で行われました。同庁舎は奥州金ヶ崎行政事務組合消防力整備計画に基づき、昨年5月に着工し、このほど完成。敷地内には焼石山系の山岳救助なども念頭に、ヘリの離着陸場としてヘリポートを整備しました。この日集まった関係者約70人が地域の防災拠点の完成を祝いました。

「男女共同参画の推進に向けて」

市は、市民プラザ・マッセ多目的ホールを会場に3月20日、男女共同参画セミナーを開催しました。県立大学総合政策学部の吉野英岐教授が「私たちにできる男女共同参画」と題して講演。聴講した26人は、市の現状を踏まえた講師の話に、男女共同参画による地域づくりへの認識を深めました。



吉野教授の話に耳を傾ける参加者

「認知症に理解を」



事例を紹介する福祉関係者

市は、市文化会館（Zホール）を会場に3月2日、「認知症にやさしい地域づくりフォーラム」を開催し、約350人が来場しました。

これは、認知症の人や共に暮らす家族を地域で支える環境の構築を目的に開催したもので、認知症介護研究・研修仙台センターの矢吹知之主任研究員による講演のほか、市内の福祉関係者によるパネルディスカッションを行いました。また、劇団「スマイルスマイル」による寸劇も行われ、会場を和ませました。

「おめでどう！百歳を祝い4人に記念品」



記念品を受け取り笑顔を見せる種二さん

市は、3月に満百歳を迎えた4人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

佐藤種二さん（胆沢区若柳字下松原）は胆沢区小山に生まれ、34歳でスミエさん（87）と結婚。2男1女をもうけ、孫8人、ひ孫2人に恵まれました。生まれつき弱視だった種二さんは、盲学校を卒業後、京都や東京などでマッサージ師として働きました。その後、胆沢に戻り開業。40歳前に全盲になりましたが、95歳まで元気に働きました。



小野寺正幸前沢総合支所長から記念品を受け取るタケさん

大好物は、スミエさんと息子夫婦が作った「ひとめぼれ」のご飯。長寿の秘訣は100歳まで生きるという信念を持つことで、この日も「長寿世界一を目指したい」と、はっきりと語りました。

郷右近タケさん（前沢区古城字北館）は同区古城に生まれ、17歳で故・與左門さんと結婚。3男5女をもうけ、孫15人、ひ孫21人、やしやご5人に恵まれました。大工の與左門さんを支えながら、子育てに励むとともに、畑仕事



家族や親戚から祝福を受ける三治さん

事にも精を出しました。甘いものが好きというタケさん。今でもプリンなどを喜んで食べます。長寿の秘訣は大きな声を出すこと。普段から好きな民謡や演歌を口ずさんでいます。お祝いのお礼にと、「外山節」を元気に歌い上げました。

佐々木三治さん（前沢区字塔ヶ崎）は同区字鶴ノ木に生まれ、28歳のころにトク子さん（92）と結婚。3男1女をもうけ、孫11人、ひ孫8人に恵まれました。東京で暮らした後に帰郷し、75歳まで建設

会社で働きました。好きな飲み物はコーヒード、38年前に招待されて行ったハワイ旅行で好きになったといっています。今でも毎日かさず飲んでいきます。規則正しい生活をし、決まった量を食べることが長寿の秘訣。集まった人たちに「膝を崩して楽にしてください」と気遣う優しい人柄の三治さんです。

桐山千代子さん（水沢区大手町）は同区字勝手町に生まれ、16歳のころに故・清四さんと結婚。3男2女をもうけ、孫2人に恵まれました。若いころ、齋藤實元首相の妻、春子さんの元でお手伝いとして働いていました。

おしゃべりが好きで、食べ物が好き嫌いなという千代子さん。昨年までは自宅周辺の散歩も楽しんでいました。現在はテレビを見たり、新聞を読んだりして、ゆったりと過ごしています。「ストレスをためないことが長寿の秘訣では」と、ご家族が話してくれました。